



選挙用放送設備 接続マニュアル

150wM

P1-P2 パワーセット

300wL

P3-P4 ハイパワーセット

600wXL

P5-P6 ビッグパワーセット

60wS

P7 ミドルパワーセット

40wSS

P8 ライトパワーセット



機器の取り付け、配線は必ず電装専門店にご相談ください。

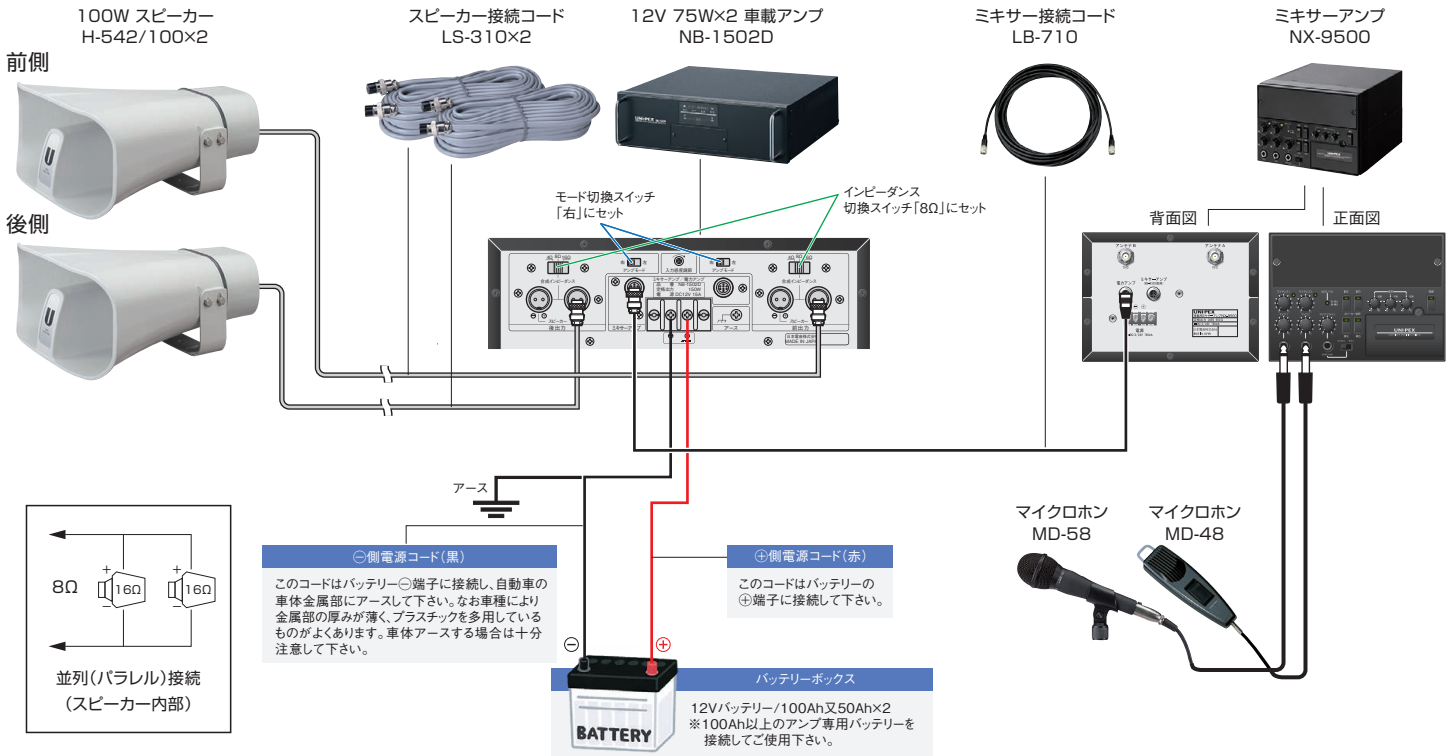
150w M

パワーセット

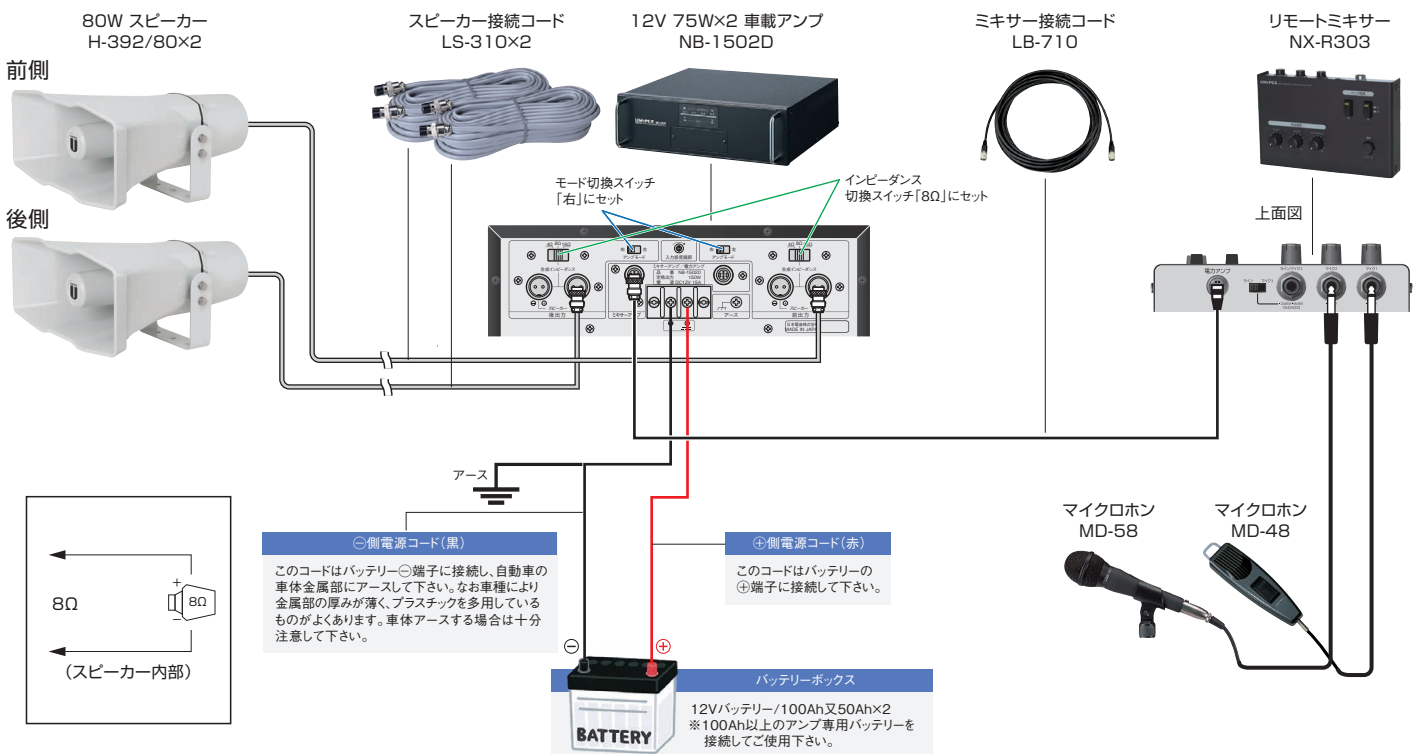
12V

- ・100Ah以上のアンプ専用バッテリーを接続してご使用ください。
- ・施工は専門の業者にご依頼ください。

Aセット 前後入切 前後2台のスピーカーを切替できる基本セット



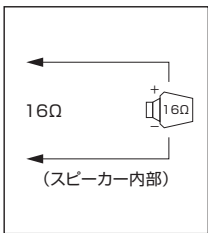
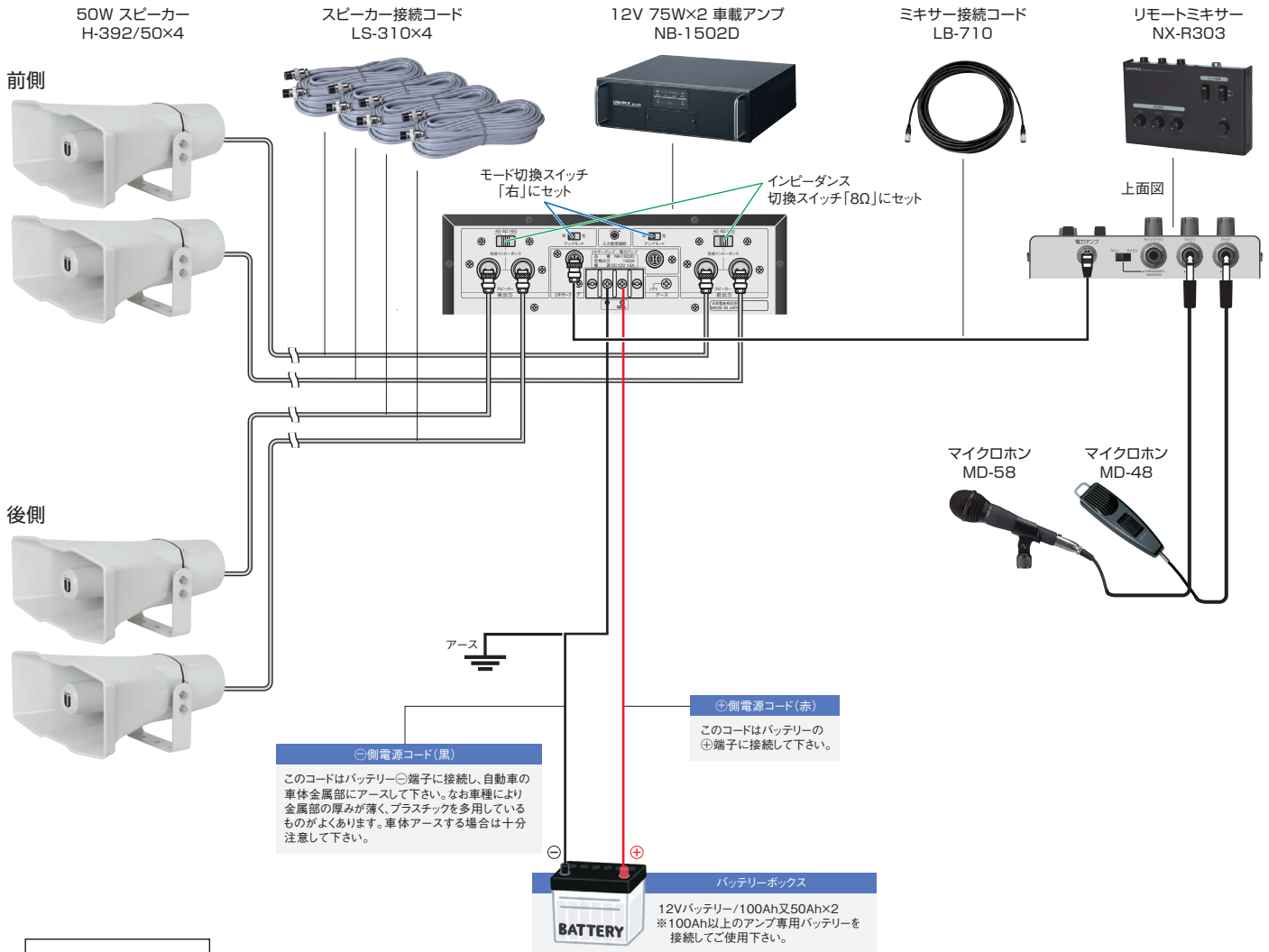
Bセット 前後入切 軽自動車や小型車に最適な基本セット



Cセット



軽自動車や小型車に最適なワイドセット



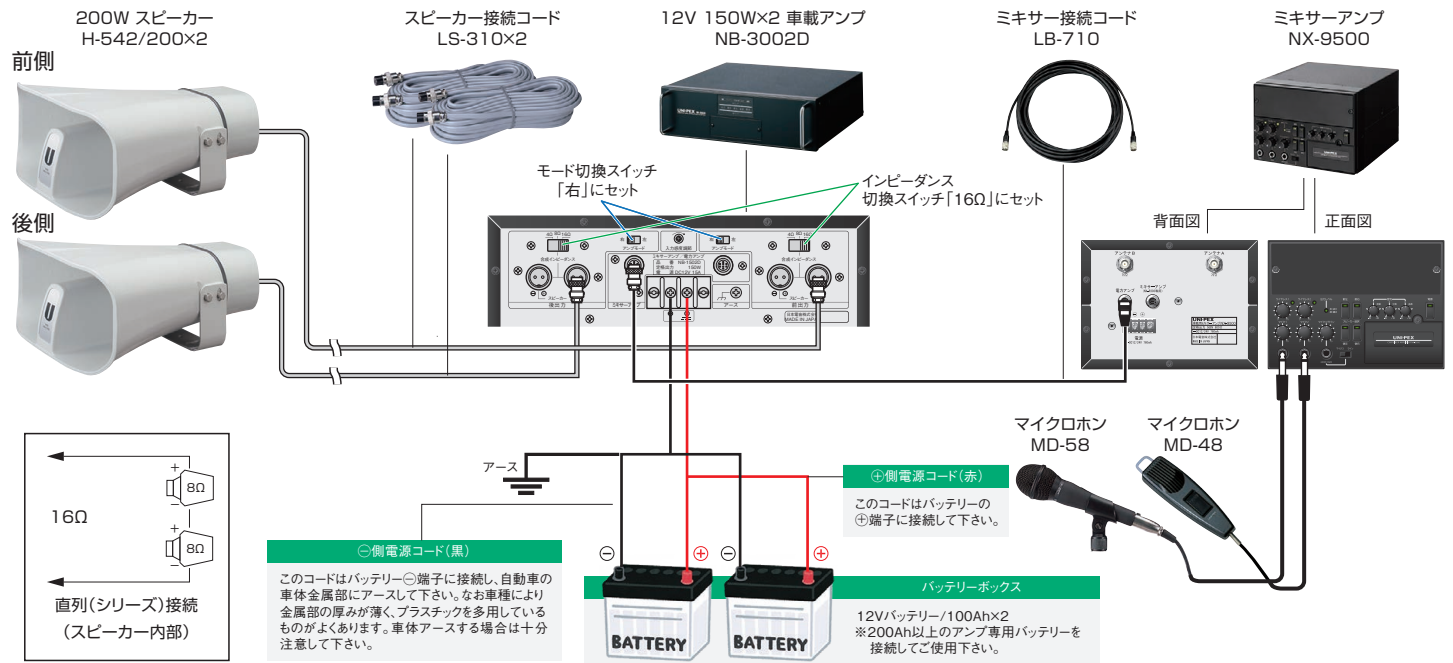
300w L

ハイパワーセット

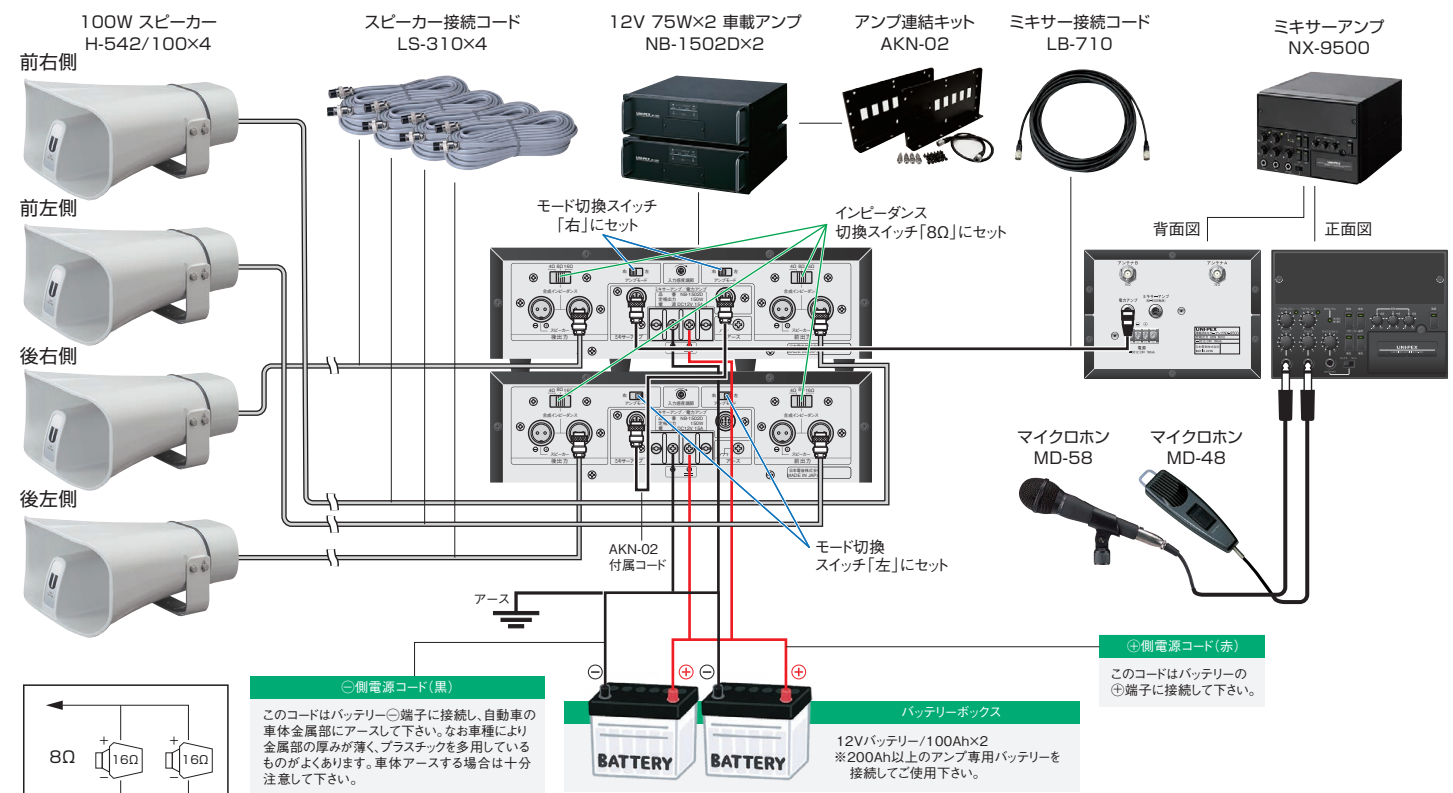
12V

- ・ 200Ah以上のアンプ専用バッテリーを接続してご使用ください。
- ・ 施工は専門の業者にご依頼ください。

Aセット 前後入切 前後2台のスピーカーを切替できる基本セット

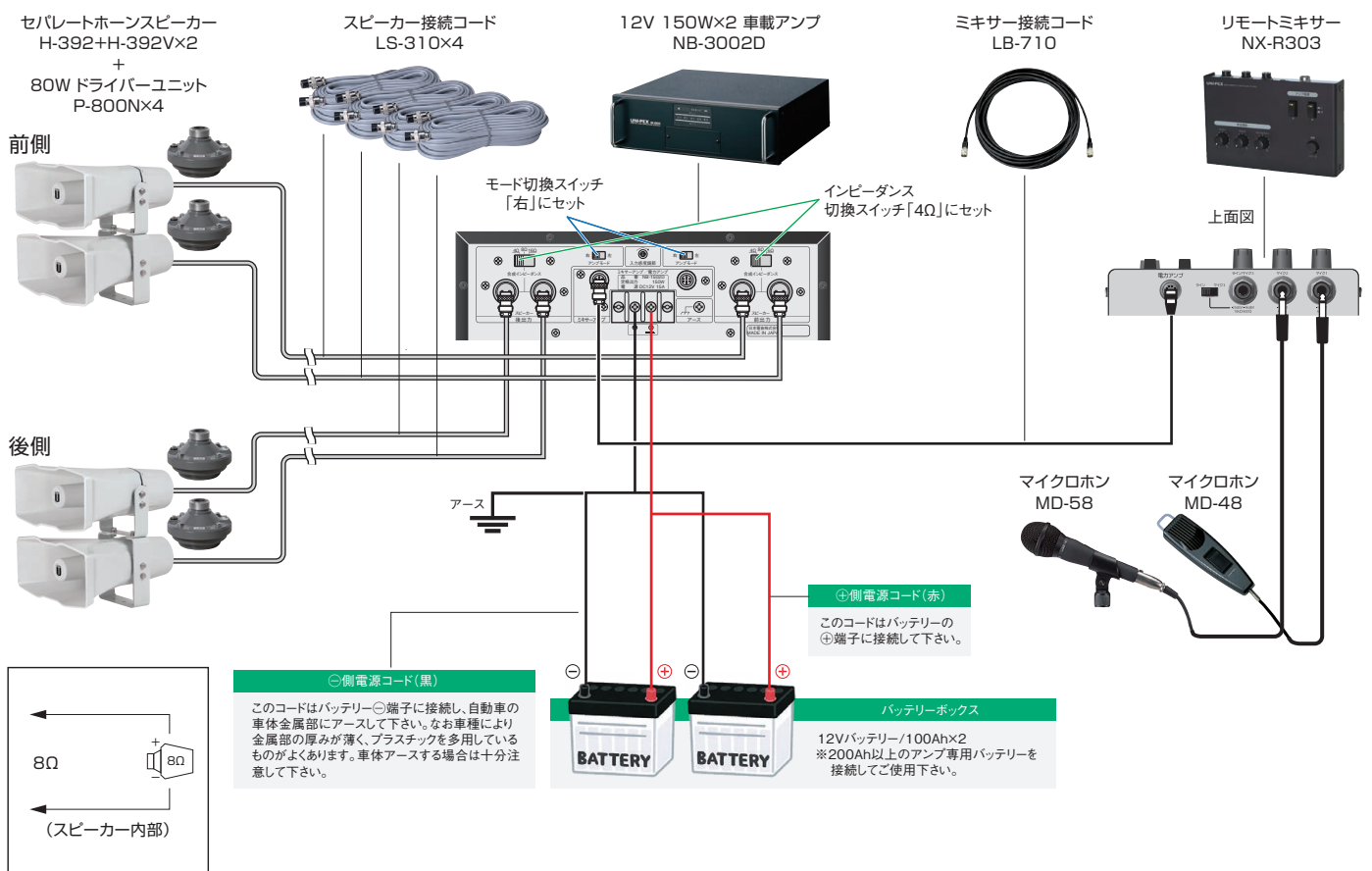


Bセット 個別入切 4台のスピーカーを個別に切替できるワイドセット



・各アンプのインピーダンス切替スイッチは全て8Ωにセットして下さい。

Cセット 前後入切 2スピーカー 軽量・高音圧なスタックホンセット



Dセットの接続方法は同じです。

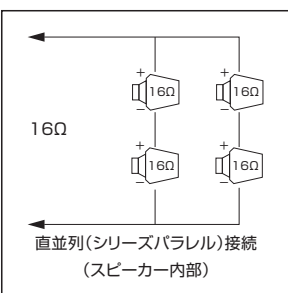
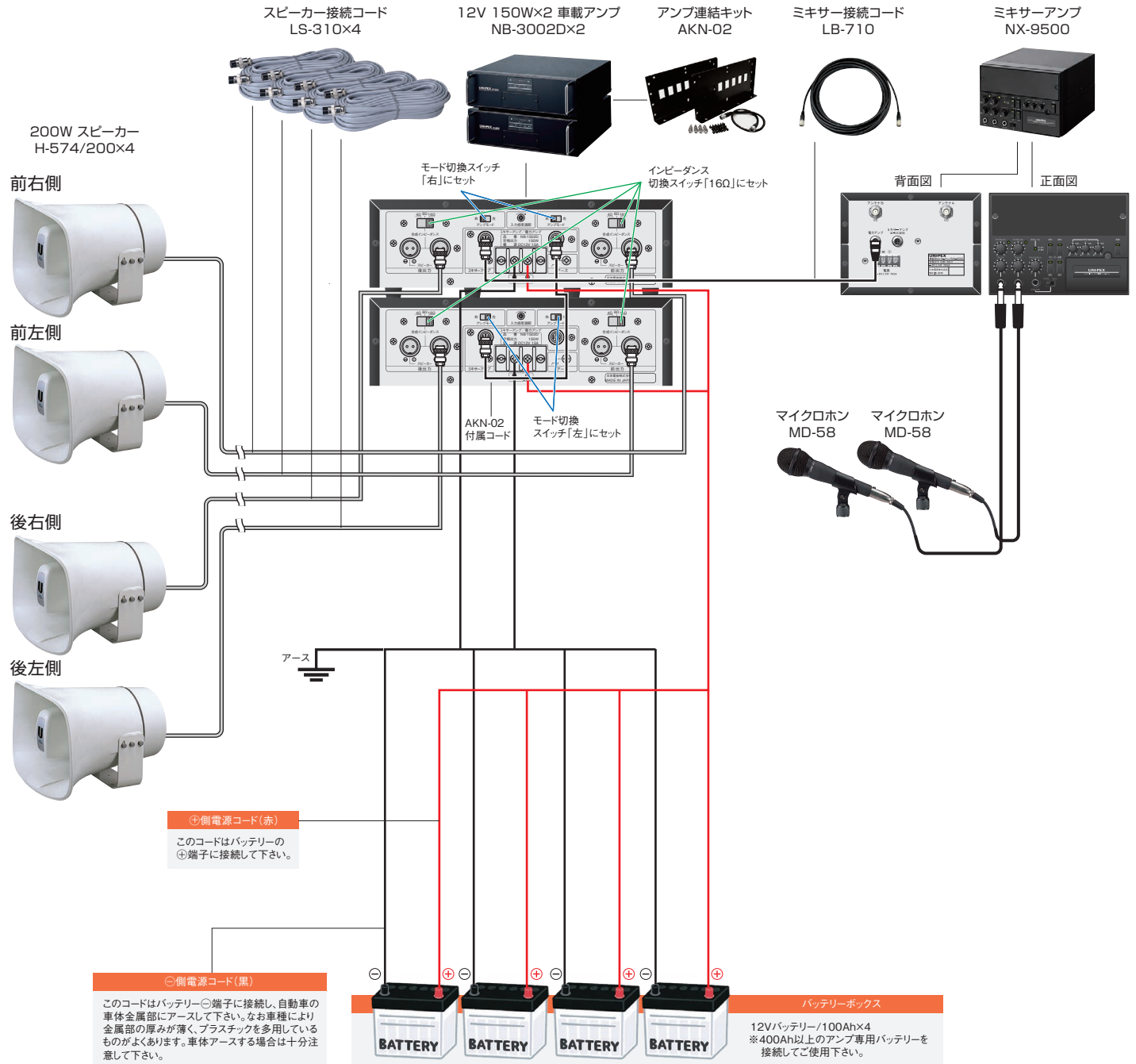
600w XL

ビッグパワーセット

12V

- ・ 400Ah以上のアンプ専用バッテリーを接続してご使用ください。
- ・ 施工は専門の業者にご依頼ください。

Aセット 個別 入切 4 スピーカー 大口径ホーンで余裕のパワフルサウンド



・ 各アンプのインピーダンス切換スイッチは全て16Ωにセットして下さい。

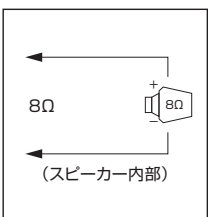
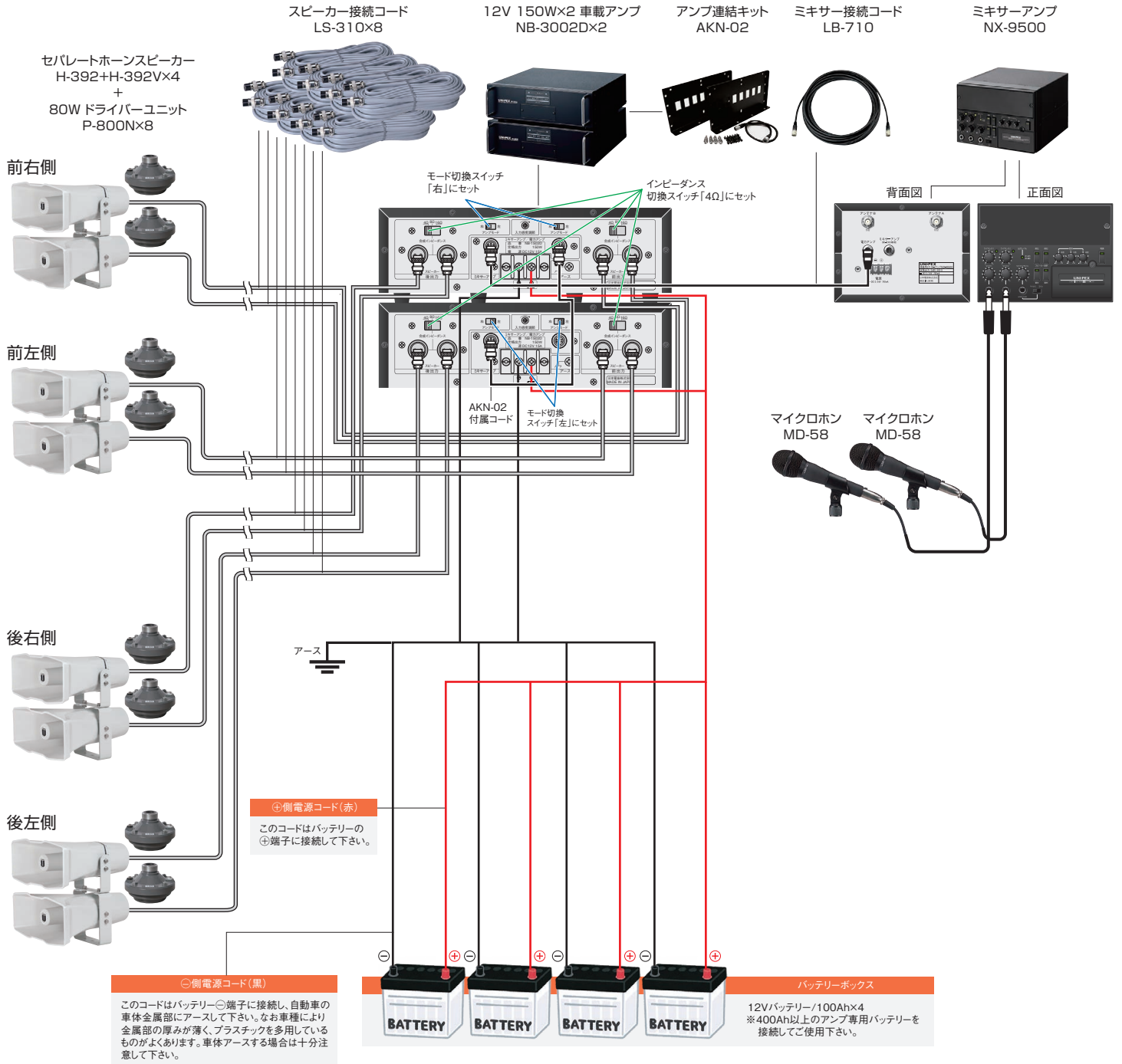
Bセットの接続方法は同じです。

Cセット

個別
入切



2段重ねの軽量樹脂ホーンでハイパワーに対応



・各アンプのインピーダンス切替スイッチは
全て4Ωにセットして下さい。

60w S

ミドルパワーセット

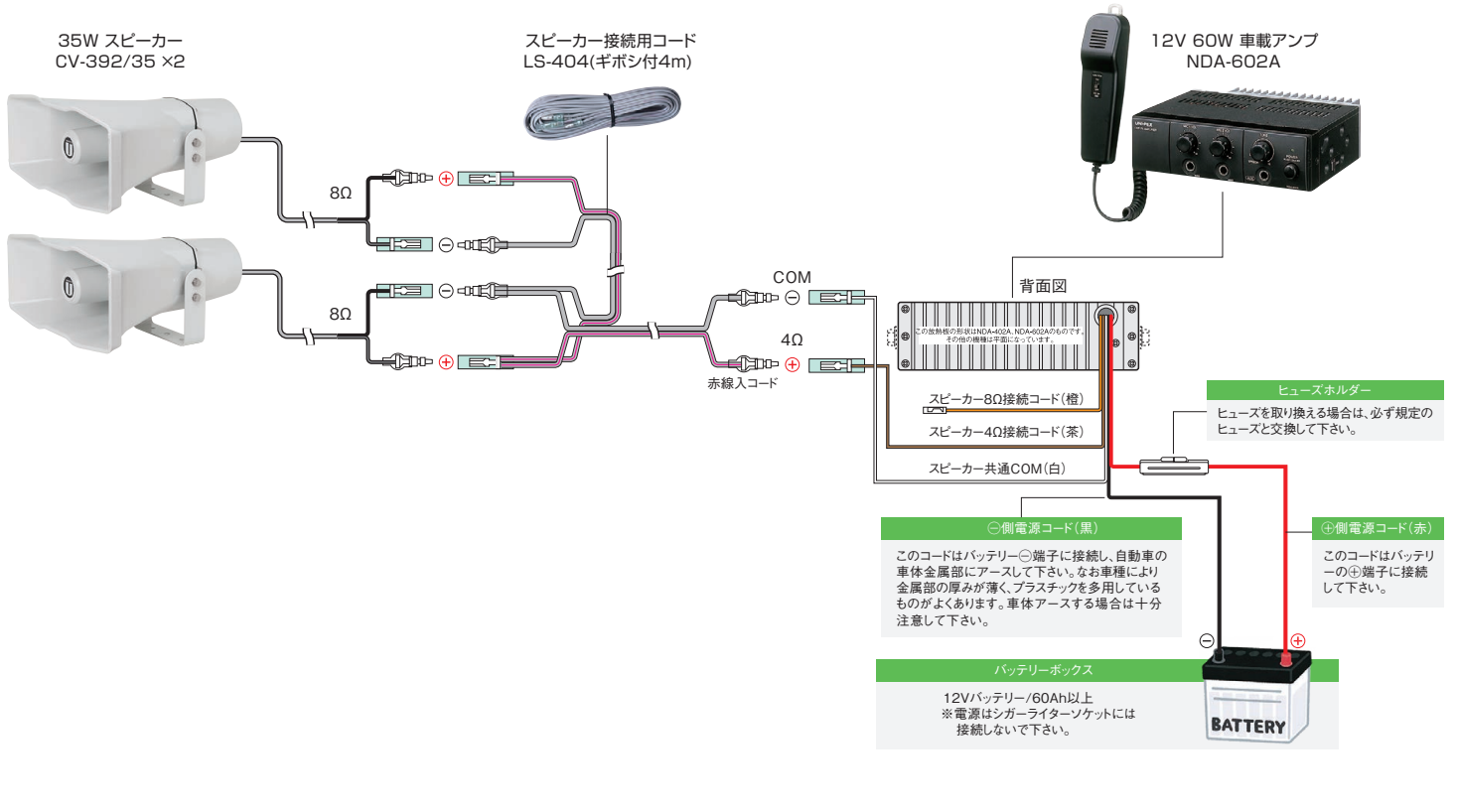
12V

- ・カーバッテリー、または60Ah以上のアンプ専用バッテリーを接続してご使用ください。
- ・インダッシュにはセットできません。
- ・施工は専門の業者にご依頼ください。

Aセット



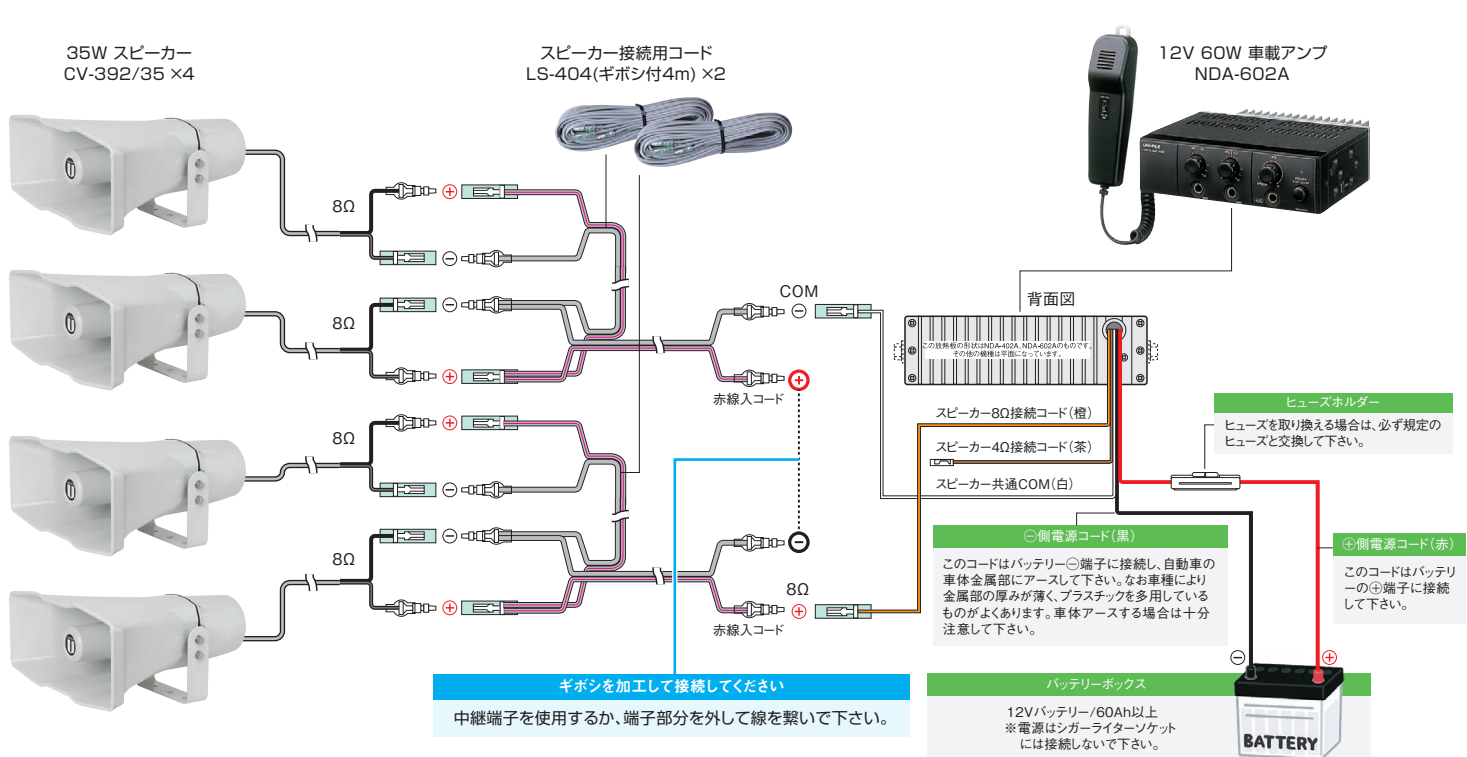
機動性に優れたコンパクトシステム



Bセット



機動性に優れたコンパクト&ワイドシステム



40w SS

ライトパワーセット

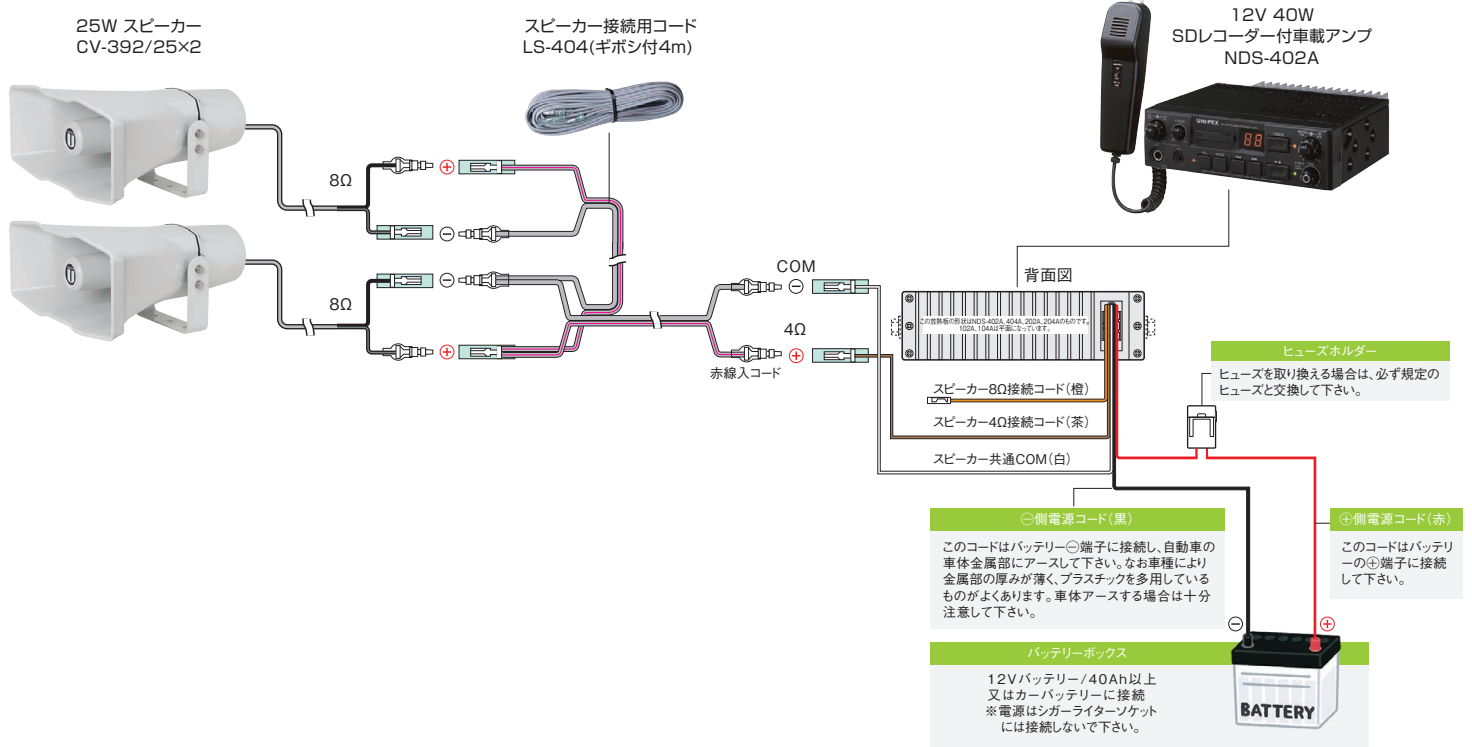
12V

- ・カーバッテリー、または40Ah以上のアンプ専用バッテリーを接続してご使用ください。
- ・インダッシュにはセットできません。
- ・施工は専門の業者にご依頼ください。

Aセット



SDレコーダー搭載のコンパクトシステム



車載用放送設備 Q&A



●選挙カーを作りたい、あるいは借りたい。どこへ連絡すればよいのですか？

まずは当社ユニバックス株式会社の各営業所へご連絡ください。
ご相談の内容により、当社にご協力頂いております専門の代理店様をご紹介します。



何Wまで？

●軽四輪車には、どれくらいのW数のシステムを搭載することができますか？

車体サイズや搭載できる重量の制限、走行安定性の面から、搭載できるスピーカーには限界があります。
また、放送設備の大きさに見合う、充電機能の大きなオルタネーターが必要になります。
こうした事情から、軽四輪車には最大150W～300Wの設備が限界とお考えください。
より大出力の放送設備が必要な場合は、やはり普通車以上が必要です。

★軽四輪車には新製品のH-392が最適です。



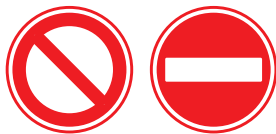
セバレートホーンスピーカー
H-392



●スピーカーを入/切したいのですが？

150W～600Wのセットでは、2系統または4系統のスピーカーを切り替えることができます。
ハウリングしやすい方向にあるスピーカーを停止したり、放送したくない方向のスピーカーを停止したりすることで、「音環境」を簡単にコントロールすることができます。

★切り替えの機能については、このカタログに記載されている各セットにアイコンとして書かれています。



●法律的な規制は？

選挙を目的とした選挙カーには法令があり、届出も必要です。看板に関する規制もありますので、詳しく事前に調べておく必要があります。

また、選挙に関する規制だけでなく、車として積載重量や車体寸法に関する規制があります。改造車扱いになるような場合もありますので、車の専門家に必ず相談してください。

★公職選挙法第143条により、看板サイズは最大273cm×73cmと規定されています。
横幅は車の天井幅を超えない範囲となります。



●なぜハウリングが発生するのでしょうか？

アンプで増幅されたマイク音声の一部が、またマイクに戻り再度大きくなることで発生します。
それ以上は出力を上げることができません。

建物が少ない郊外では発生しにくく、駅前など反射物となる建物が多い環境では発生しやすくなります。

車という環境の中ではどうしてもハウリングが発生しやすいのですが、少しでも改善できる方法として、

- ①指向性の良いマイクを選ぶ（無指向のマイクを使わない）。
- ②マイクの先を握り締めない。
- ③スピーカーの正面軸上に沿って演説しない。
- ④むやみに音質調整をしない。
- ⑤スピーカーの取り付け方法を工夫する（方向を変える、音の余分な反射を少なくするなど）。
- ⑥スピーカーとマイクの距離を離す。
- ⑦ハウリングするまで音量を上げない。
- ⑧マイクに口をなるべく近づけて話す。

★建築物などで使われるハウリングサプレッサーは天井や壁のない屋外を走りまわる選挙カーでは、ハウリングに関する条件が瞬時に変わっていくため、選挙カーではあまり効果が期待できません。



原因は？

●60Wアンプ(NDA-602A)ならアクセサリソケットやシガーライターソケットから電源をとっても良いですか？

60Wアンプ(NDA-602A)は消費電流が8Aで、問題はなさそうですが、シガーライターは通常、長時間電源が入るものではなく、比較的短時間の動作です。

アンプに常時8Aが流れることはありませんが、選挙時のように連続動作に近い状態では、電源線の耐久性の問題があります。また、シガーライターの端子は灰やヤニで汚れており、接触状態が良くないことが多いです。
60W以下のアンプでも、電源は細い電線を避け、バッテリーから直接配線してください。





300MHz

違いは？

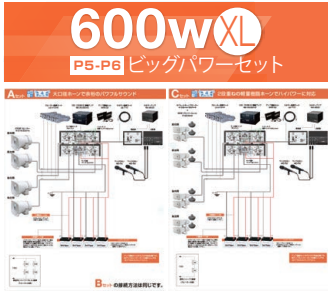


800MHz

●ワイヤレスマイクの周波数(300MHzと800MHz)は何が違うのですか？

同一エリア内で同時に使える本数が違います。300MHzでは4本、800MHzでは6本までです。当社ではワイヤレスメガホンやワイヤレスアンプなどで、主に300MHzを使っています。選挙カーも300MHzで揃えておくと、ワイヤレスメガホンと選挙カーで同じワイヤレスマイクが使えます。

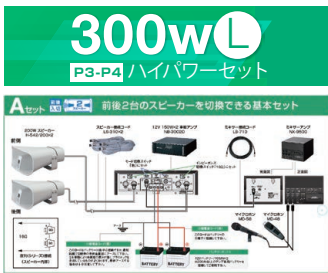
- ★300MHzも800MHzも、チャンネルを変更できるPLLシンセサイザー方式を採用しています。同じ場所で同じチャンネルのワイヤレスマイクを他の人が使用していて、ご自身の選挙カーに飛び込んでくる場合、チャンネルを切り替えて回避することができます。
- ★800MHzのワイヤレスマイクはパーラーなどで使われているケースが多く、駅前の演説では店内放送が飛び込む危険性が高いので、選挙では300MHzのシステムがお勧めです。



●600W 「Aセット」と「Cセット」の違いについて。

違う点はスピーカーです。AセットはH-574/200、CセットはH-392+H-392Vを採用しています。H-574/200には4台のドライバーユニット、H-392+H-392Vには2台のドライバーユニットが組み込まれています。H-574/200は外観が大きい分、見た目に迫力があり、口径(スピーカーを前から見た状態)サイズが大きいので低音がしっかり出て、パワフルな音声で伝達します。H-392+H-392Vはアレイ効果と中高音域に優れた周波数特性により、広い範囲へ明瞭度の高い放送が可能です。コストパフォーマンスにも優れています。

- <Aセット> ★迫力ある低音でパワフルな放送が可能です。大型車両に最適です。
- <Cセット> ★広い範囲へ明瞭度の高い放送が可能です。軽量のため中型車両にも対応しています。



●ライトバンに300W Aセットを取り付けようと思います。日頃の広報用にも使用したいので、車のオルタネーターから充電するようにしたいのですが、どのようにすれば良いのでしょうか？別付けでバッテリーをつけるとすればどれくらいのものを追加すれば良いのでしょうか？

300WのアンプNB-3002Dの定格消費電流は30Aですから、6時間動作させるためには180Ah以上のバッテリー容量が必要となります。走行用バッテリーと接続する場合、※オルタネーターからの電力がプラスされますが、余裕を見て200Ah以上のバッテリーを追加することをお勧めします。看板の蛍光灯など電装品が多い場合は、より容量の大きなバッテリーを追加してください。

※オルタネーターの充電機能も考慮する必要があります。最終的には総合の消費電量をもとに電装店にご相談下さい。アンプ用バッテリーが空になった場合、走行用バッテリーの電力を消費してしまうことがあります。車の走行自体ができなくなることもありますので、アイソレーターを入れてください。

※ハイブリッド車は車両側のコンピューターにより発電機(オルタネーター)の動作や発電量が制御されています。拡声装置搭載にあたり、アイソレーターを使用した拡声用のサブバッテリー追加については、専門知識を有したディーラー様等にお尋ねください。従来のガソリン車であっても、追加したバッテリーは充電時に水素ガスや酸素ガスが発生します。設置場所や換気には注意が必要です。



ライトバンに取り付けるには？



オルタネーター

車の交流式発電機です。



アイソレーター

車用のダイオードです。電源の流れを一方通行にして、バッテリー同士の相互干渉を防ぎます。

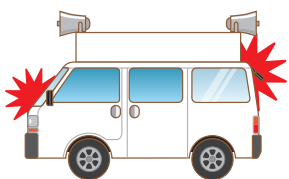
●選挙アンプで壊れやすい場所や、注意すべきことは？

演説途中で放送できなくなる原因のほとんどが、バッテリーあがりです。古いバッテリーを使用したり、車のオルタネーターから充電されていないことが多いです。充電しない場合、新品のバッテリーでも1日程度の選挙活動で空になります。車のオルタネーターから充電できない場合は、選挙活動終了後に毎晩充電してください。この場合、高速充電はかけず、予備バッテリーを用意して、充電中と使用中を交換しながら使うことをお勧めします。

古くなった機材では、コード類やコネクター類のトラブルが良くあります。
★コードの断線やコネクターの錆びには、十分ご注意ください。マイクコードの断線が意外に多いです。

スピーカーの衝突事故を避けるため高さ制限のある通路には十分ご注意ください。

- ★スピーカーや看板を搭載した時の車高を、運転席に貼っておいてください。一度ぶつけたスピーカーは、必ず点検、修理してください。
- ユニットカバーに雨水が混入してショートしたり、ホーン部分にクラックが入ったりすると、大変危険です。



注意すべきは ...

- ・施工は専門の業者にご依頼ください。
- ・接続するバッテリーは、必ず指定の容量のものをご使用ください。
- ・アンプとスピーカーの接続は、インピーダンスを正しく合わせてください。
- ・大型スピーカーを看板とともに車に設置する場合、重量・風圧に十分ご注意ください。



本カタログは選挙用放送設備カタログの接続マニュアルです。合わせてご覧下さい。



ご使用の際のお願い

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」と「安全上のご注意」をよくお読みください。



JQA-QM3324
ISO9001 認証
製造元 日本電音(株)



JQA-EM3752
ISO14001 認証
製造元 日本電音(株)



日本電音(株)は品質環境マネジメントシステムの認証企業です。

お客様ご相談センター

0120-56-5245 (通話料無料)

受付時間/9:00~17:00
(土・日・祝日除く)

携帯電話からのご利用は、
072-855-3334 (通話料がかかります)

商品の内容・組合せ・設置方法などの技術的なお問い合わせにお答えします。
価格・在庫・修理、カタログのご請求は、最寄りの営業所または取扱店へお申し付けください。

ホームページアドレス

<https://www.unipex.co.jp>

UNI-PEX



お問い合わせは下記取扱店へ

札幌営業所 TEL. (011)733-2101(代)
〒065-0016 札幌市東区北十六条東13-1-7-101 FAX. (011)733-2103
仙台営業所 TEL. (022)232-1295(代)
〒984-0015 仙台市若林区卸町 3-6-11 FAX. (022)232-1297
東京営業所 TEL. (03)3821-3721(代)
〒110-0008 東京都台東区池之端 2-3-17 FAX. (03)3827-5423
横浜事務所 TEL. (045)326-4476(代)
〒220-0023 横浜市西区平沼 1-33-21 FAX. (045)326-4486
新潟営業所 TEL. (025)287-3611(代)
〒950-0922 新潟市中央区山ニツ 3-17-6 FAX. (025)287-3613
金沢営業所 TEL. (076)240-4577(代)
〒920-0362 金沢市古府 1-77-T1 FAX. (076)240-6737
静岡営業所 TEL. (054)238-1446(代)
〒422-8037 静岡市駿河区下島 152-5 FAX. (054)238-1453

名古屋営業所 TEL. (052)871-1671(代)
〒466-0051 名古屋市昭和区御器所 1-3-29 FAX. (052)872-4128
大阪営業所 TEL. (06)6632-2855(代)
〒556-0005 大阪市浪速区日本橋 4-2-7 FAX. (06)6644-1624
高松営業所 TEL. (087)868-1181(代)
〒760-0079 高松市松隈町 1030-6-203 FAX. (087)868-1331
広島営業所 TEL. (082)535-5511(代)
〒733-0032 広島市西区東観音町 17-10 2F FAX. (082)535-5513
福岡営業所 TEL. (092)721-5000(代)
〒810-0074 福岡市中央区大手門 3-9-15 FAX. (092)721-5089
鹿児島営業所 TEL. (099)250-0220(代)
〒890-0052 鹿児島市上之園町 8-12 FAX. (099)257-3327
営業推進課 TEL. (06)6636-2530(代)
FAX. (06)6647-8019

2024年11月現在

本カタログの表示価格は消費税抜きの価格となりますので別途、
所定の消費税が課税されます。

製造元 日本電音株式会社 発売元 ユニペックス株式会社

本社 / CS課
〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL. (072)855-3334(代)

本カタログに記載の価格及び仕様・外観は製品の改良のため予告なく変更することがあります。
なお、価格には取り付けのための工事費などは含まれておりません。
●カタログと実際の商品の色とは印刷の関係で多少異なる場合があります。